

中嶋良樹さん

日野を 元気にする まちづくり



<基本情報>

- ・年齢：33才
- ・党派：無所属
- ・家族：妻、長男（4才）、長女（2才）

日野市議会、現職最年少議員として活躍する、中嶋良樹さん。「日野を元気にするまちづくり」をスローガンに日々東奔西走する中嶋さんは、なぜ若くして市議になったのか、また若者の政治参加についてどのように考えているのか話を伺った。

記者 なぜ議員を志したのですか？

中嶋さん 「人とかかわる仕事」が好きだったからです。大学卒業後、民間企業に就職しましたが、ある時、とある政治家に出会ったことがきっかけで議員を志しました。市議会議員は、街の人の関わり合いの中で行う仕事なので、決断するまでにそう時間はかかりませんでした。実際に議員になってみて、人と接し、その内容が自分の仕事になっていることが楽しいです。反対に、思い立ってすぐ立候補したため、議員秘書経験などもなく、選挙の知識が十分ではなかったかもしれません。

記者 主な政策はどのようなものですか？

中嶋さん 市民の声を届けるために、社会福祉政策を中心にしています。特に「健『幸』長寿プロジェクトの推進」を目標に掲げています。これは介護を受けずに元気に過ごせる期間である、「健康寿命」の延伸を目標として、生きがいや、豊かな生活を手に入れるだけではなく、今まで負担されてきた医療費の軽減につながります。そこで、生涯スポーツの実現を掲げています。実現のために、身近な場所ですポーツを楽しめる環境をソフト、ハード両面から整備したいと考えています。実際、私も地域のスポーツ活動に取り組んでいます。スポーツを通して、街の人のお話を聞く機会にもなっています。

記者 政策の目指す未来像とは？

中嶋さん 山積みされた行政課題に一つ一つ対処していくことが最優先です。少子高齢化や人口流失、扶助費の削減など、現在の対処に迫られて将来への投資をする余裕がありません。このままでは、次の世代に残せるものがないどころか、負担をかけることにもなりかねません。だからこそ、削減できるものを極力減らしていかなければなりません。

記者 では、若い議員として年齢の近い若者世代に対し、何か期待することはありますか？

中嶋さん 一番は政治への関心を持ってほしいです。これは、自ら参加することが大切だと思っからです。たとえ、政治に興味があつたとしても、投票へ行かないという人は少なくありません。実は私も、政治にあまり詳しくなかったため、興味を持つというこの重要性を実感しました。また、政治家も、若者のニーズが分からないという点があります。なので、自分が持っている権利を投票という形で使ってほしいです。

記者 どのようにすれば、若者の政治参加が向上すると考えますか？

中嶋さん 特効薬はないかもしれませんが、段階的にアプローチすることは可能だと考えています。最近では若年層投票率向上のためのNPOを立ち上げられているほか、SNSの利用により政治が身近になりつつあります。新たに考えられるアプローチとして、教育制度があります。18歳からの選挙権引き下げにより、学校教育を通じて政治参加の重要性を知ってもらいたいのです。また他のアプローチとして、選挙へ行つた証明書を提示することで、提携するお店の割引券になるといった試みも面白いかと思えます。

